

한통련 뉴스레터

発行:在日韓国民主統一連合(韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284 メール chuo@korea-htr.org

정세 情勢

文大統領の終戦宣言提案を支持・歓迎する！ 実現のための環境をわが民族の力で作りだそう！



国連総会で演説する文在寅大統領

文在寅大統領は9月21日、米ニューヨークで開かれた国連総会で一般討論演説を行い、南北米中が朝鮮半島での戦争終了を宣言することを提案した。文大統領は、朝鮮戦争の終戦宣言こそ朝鮮半島で和解と協力の新たな秩序をつくる重要な出発点になるとの考えを示した。文大統領は国際社会に向けても「朝鮮半島の終戦宣言のために力を集結してもらいたい」と呼び掛け、終戦宣言が実現したときに非核化の不可逆的な進展とともに完全な平和が始まると強調した。来年5月に任期を終える文大統領は、朝鮮半島の平和の始まりは「常に対話と協力だ」とした上で、南北間、朝米間の対話の早期再開を促すとともに、「残りの任期の間、共生と協力の朝鮮半島のために最後まで最善を尽くす」と述べた。

朝鮮中央通信は文大統領の終戦宣言の呼びかけに対するリ・テソン外務次官(23日)、金与正朝鮮労働党副部長(24、25日)の談話を続け

て発表。リ次官は時期尚早だとし、「米国の二重基準と敵視政策の撤回は、朝鮮半島情勢の安定と平和保障において最優先的な順位にある」と主張した。金副部長は24日、「相手に対する敵視を撤回するという意味からの終戦宣言は、興味のある提案であり、よい発想であると思う」と評価し、25日には個人的な見解と前置きした上で、「公正性と互いに対する尊重の姿勢が維持されてこそ、はじめて北南間の円滑な疎通がなされるであろうし、ひいては意義ある終戦が時期を逸せず宣言されるだけでなく、北南共同連絡事務所の再設置、北南首脳対面のような関係改善の諸問題も、建設的な議論を経て早いうちに一つ一つ有意義に、見事に解決することができると思う」と述べた。

文大統領の終戦宣言提案について、プライスマ国務省報道官は24日、「南北関係においては南北の対話と関与が良いと信じている」と述べ、米国防総省のカービー報道官は22日、目標は常に朝鮮半島の完全な非核化だとした上で、「終戦宣言の可能性に対する議論は開かれている」と述べた。中国外務省の趙立堅報道官は22日、「朝鮮半島の戦争状態の終結と朝鮮半島の停戦・平和メカニズムへの転換の実現は、朝鮮半島問題の政治的解決のプロセスの重要な内容だ」と述べた。

10・4宣言と板門店宣言で言及され、文大統領が国連演説でも提案し続けてきた終戦宣言は、平和協定締結への筋道をつける具体的な方案であり、評価すべき望ましいことである。また今回、宣言主体の3者と4者を明示したことは、特に米中に当事者としての認識を促したといえる。しかし課題は、終戦宣言の協議が始まり成立へと向かう、そうした対話環境が3者または4者の間で十分に整っているかどうかだ。南北関係においては



2018年2月、特使として文在寅大統領と面会した金与正副部長

せっかく復旧した通信連絡線が韓米合同軍事演習の強行により稼働せず、ふくらんだ関係改善の希望は一気にしぼんだ。朝鮮は次官の発言が示すように、終戦宣言の前に「米国の二重基準と敵視政策の撤回」が最優先だとしており、米国政府は「終戦宣言を支持する」とは明言していない。中国政府は終戦宣言に前向きだが、いうまでもなく米中は緊張関係にある。こうした複雑な情勢の下で、関係国が終戦宣言へと進むというのは簡単なことではない。

しかし南北が徹底して情勢を主導することで展望を見出すことは可能だ。南北が相互信頼、相互尊重の精神に立ち返り、南側が韓米共助を上回る民族共助の精神を発揮し、南北合意を誠実に実践していく、そのようにして南北関係を主体的に好転させていくことができれば、朝米関係にも好影響を与えるはずであり、終戦宣言に向けた環境が整備されていく可能性は十分にあるといえる。

北側から金副部長が終戦宣言の提案に肯定的な姿勢を示し、さらには南北共同連絡事務所の再設置や南北首脳会談の開催にまで言及した。金副部長の意図は、南北の主導で朝鮮半島情勢を転換させることであり、そのために終戦宣言の提案を一定評価し文大統領に期待をかけている。当然、現政権から次期政権へと平和・統一政策が続くことも望んでいるものと推測できる。文大統領には、残り任期にとらわれず、局面を転換し進展させるために全力をあげ、その成果が次期政権へと引き継がれることが、3回の南北首脳会談を実現し2つの南北合意書を導き出した大統領として、切実に求められている。ボールは南側にある。

활동보고 活動報告

大阪本部が近代史セミナーを開催



金昌範副代表委員による報告

9月26日、韓統連大阪本部が韓統連セミナー2021「シリーズ ウリ近代史最終回—圧制に抗拒する民衆—3・1独立運動を中心に」を東成区民センターで開催した。

セミナーでは、金隆司大阪本部代表委員が主催者挨拶し、「現在、韓日関係は冷えきっており、その要因は日本政府の誤った歴史認識にある。今

日のセミナーを在日同胞と日本人が正しい歴史認識を共有する場にしていこう」と述べた。

続いて金昌範副代表委員が報告。金副代表は、甲午農民戦争の主導者である全瑋準総大将の処刑（1895年4月）以降の日本帝国主義による圧制と当時の独立運動について詳細に報告。

また、3・1独立運動について「ソウルで独立宣言書が朗読され、多くの民衆が“独立万歳”を叫び、全国に運動が拡散した。学生・宗教者・知識人・商人など幅広い階層が参加した」と述べながら、「闘いの原動力はまぎれもなく歴史の主役である民衆であり、民族解放運動の質を高める契機をつくった」と、3・1独立運動を評価した。

報告後は活発な質疑討論が行われ、11月7日に開催する「韓国大統領選挙を考える集い」などの行事予定を紹介後、金昌五副代表委員が閉会挨拶した。

행사예정 行事予定

10月

9・19ピョンヤン共同宣言3周年、10・4宣言14周年、南北共同宣言履行のための南・海外青年学生大会(韓青)

日時: 10月2日(土) 午後4時～ 形式: オンライン

主催: 6・15南側委員会青年学生本部、6・15日本地域委員会青年学生協議会

内容: 共同実践期間における活動報告、文化公演、南、海外からの発言、共同決議文朗読

情勢学習会(神奈川)

日時・場所: 調整中

いややねん戦争 子どもまつり(大阪)

日時: 10月23日(土) 午後2時～ 場所: 御幸森第2公園 内容: 反戦平和をテーマにした企画(紙芝居、子ども参加型ゲームなど)、舞台出演、屋台

とめよう!戦争への道 めざそう!アジアの平和 2021関西のつどい(大阪)

日時: 10月23日(土) 午後1時30分開場、午後2時開会 場所: エルシアター

内容: 国際地政学研究所理事長の柳沢協二さんの講演、参議院議員 高良鉄美さんの国会報告など

第12回ハナ・マダンあまがさき 映画「私はチョソンサラムです」上映会(兵庫)

日時: 10月31日(日) 第1部 午前10時45分開場、11時開始 第2部 午後1時30分開場、1時45分開場 場所: サンシビック尼崎 内容: 映画上映、金哲民監督とのオンライントークショー

11月

韓国大統領選挙を考える集い(大阪)

日時: 11月7日(日) 午後1時30分受付、午後2時開会 場所: KCC会館

内容: 講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」(講師: 金昌五大阪本部副代表委員)、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、選挙人登録・投票案内

映画「私はチョソンサラムです」上映会(三重)

日時: 11月28日(日) 午後1時開場、1時半開始(予定) 場所: 四日市市総合会館

編集後記

今号から編集後記を書くことになりました。よろしくおねがいます。

早いもので、今年も10月に入りました。韓国大統領選挙にむけた情勢も一気に加速していきそうです。各党候補は誰になるのか気になりますね。韓統連では、11月から各地方で「大統領選挙を考える集い」を開催していきます。皆様ぜひご参加ください。(李)